

第4期伊達市障がい者計画（案） に対する市民意見公募（パブリックコメント）の結果

「第4期伊達市障がい者計画（案）」に対する市民意見公募結果について、ご意見と市の回答を下記のとおり公表いたします。

案 件 名	「第4期伊達市障がい者計画」の策定		
募 集 期 間	令和6年1月17日（水）から2月15日（木）まで （30日間）		
有効な意見の件数 （意見提出者数）	4 件 （ 3 名 ）		
無記名などにより 無効となった意見件数	0 件 （ 0 名 ）		
有 効 な 意 見 の 取 扱 い	反 映	意見の全て、または一部を 案に反映するもの	0 件
	既掲載	既に案に盛り込んでいるもの	1 件
	その他	その他の意見・今後の参考として 伺ったもの	3 件
有 効 な 意 見 の 提 出 方 法	電子メール		3 名
	郵送		0 名
	ファクシミリ		0 名
	直接持参 （担当課窓口・意見投函箱）		0 名
お 問 い 合 わ せ 先	伊達市健康福祉部社会福祉課障がい者福祉係 （本庁舎1階8番窓口） 〒052-0024 伊達市鹿島町20番地1 電話番号 : 0142-82-3193 FAX番号 : 0142-25-4195 Eメール : shogai@city.date.hokkaido.jp		

市 民 意 見 の 公 募 結 果

意見 提出者	意見 番号	提出された意見の内容	回答内容
1	1-1	<p>概要版について、1. 計画策定の趣旨から9. 計画の推進までの項目について、きめ細かく記載されてわかりやすいのですが、ちょっと工夫して頂き各項目が、ひと目で分かるようコンパクトに図形での表示もしては、どうかと思います。障がい者は、どちらかと言えば年配者が多いと思いますので、簡単明瞭にしていただけるとありがたいです。</p>	<p>【 その他 】</p> <p>計画の内容が多いため全ての項目を網羅して図形で表すことは難しいですが、ご意見を参考にA3用紙1枚程度にまとめたものの作成を検討いたします。</p>

◎ 凡 例

- 【 反 映 】** : 意見の全て、または一部を案に反映するもの
- 【 既 登 載 】** : 既に案に盛り込んでいるもの
- 【 そ の 他 】** : その他の意見・今後の参考として伺ったもの

市 民 意 見 の 公 募 結 果

意見 提出者	意見 番号	提出された意見の内容	回答内容
2	2-1	<p>・小学生の福祉体験について 小学生の息子がいますが、先日視覚障がい者の疑似体験や車いす操作を経験した様で、小学生のうちからその様な体験を学ぶ機会がありとても嬉しく思います。若いうちから障がいに対する理解に繋がり、偏見の払拭になると感じております。市のイベントでも、その様な機会が増えると良いなと思います。自身も病院に勤務しているのでもしお手伝いできることなどあれば参加したいと考えております。</p>	<p>【 既掲載 】 福祉教育へのご協力の提案をいただきありがとうございます。 障がいの有無に関わらず、人それぞれの違いを自然に受け入れ、支え合い、互いに認め合う共生社会の実現のためには、市民一人ひとりが様々な障がいについて正しい知識を得て、理解を深めていく必要があります。 計画案26ページの1-1 差別の解消、権利擁護の推進及び虐待の防止（2）理解促進④「福祉教育による福祉意識の啓発」に記載のとおり取組を進めてまいります。</p>

◎ 凡 例

- 【 反 映 】** : 意見の全て、または一部を案に反映するもの
- 【 既 登 載 】** : 既に案に盛り込んでいるもの
- 【 そ の 他 】** : その他の意見・今後の参考として伺ったもの

市民意見の公募結果

意見提出者	意見番号	提出された意見の内容	回答内容
2	2-2	<p>・避難行動要支援者の個人避難計画についてお聞きします。</p> <p>車いすを主な移動手段とする方にとって実際に町の中は障がいとなる場面が多くあると感じております（路肩の段差や階段の操作など）。災害が起きたときに、規模によってはさらに移動しづらくなることが予想されますが、個人で避難所までの移動は限界もある為、実際に車いすを含めた避難訓練などを若い人も含めて参加していくことが望まれると感じております。</p> <p>山下町などは高齢者が多い印象があり、海辺に近いことから実践的な取り組みとして、平時のうちどの様に対策されているのか機会があればお聞きしたいです。</p> <p>また、昨年参加したふれあい広場で車いすに装着する福祉用具について説明してくれた方がおりました。その様なものを広く情報提供したり、普段から使い慣れておくこともいざという時の備えに繋がると感じております。</p> <p>・以前から、旭川など実際に冬場の避難所で宿泊する訓練や体験なども行っており、いざという時のシミュレーションにも繋がるので大事だなと感じておりました。その様な中、昨年参加させて頂いた防災キャンプでは、様々な企画がなされ、楽しみながら災害について学ぶ事が出来、子どもの参加もしやすい事からとても良い体験でした。もっと多くの市民の方が参加出来る場になればと思います。</p>	<p>【 その他 】</p> <p>洪水、津波などの災害において一番重要なことは速やかに高い場所へ逃げることです。山下町付近の住民は館山公園や国道より北側、また避難に時間のかかる方は避難ビル（駅前団地1号棟や2号棟、ウェルシアタワー伊達）や伊達紋別駅自由通路などへ避難されることを推奨しております。</p> <p>昨年の防災総合訓練では実際に住民の方にそれらの避難場所へ避難していただきましたが、要配慮者の防災対策について行政機関だけでは十分な対応が行き届かない可能性があるため近隣住民どうして助け合う共助と、行政機関による公助の連携が重要となってきます。</p> <p>昨年実施した防災キャンプにご参加くださいましてありがとうございます。</p> <p>今後は、防災イベントの効果的な開催方法について様々な角度から検討していきます。</p>

◎ 凡 例

- 【 反 映 】** : 意見の全て、または一部を案に反映するもの
- 【 既 登 載 】** : 既に案に盛り込んでいるもの
- 【 そ の 他 】** : その他の意見・今後の参考として伺ったもの

市 民 意 見 の 公 募 結 果

意見 提出者	意見 番号	提出された意見の内容	回答内容
3	3-1	<p style="text-align: center;">P 3 2 2-3 自立した生活の支援</p> <p>これまでの計画では、障がい者だけに視点が いっており、障がい者を支える人々の状態状況に ついてはあまり触れられていなかったように思ひ ます。</p> <p>今、伊達市内の現状は、高齢者福祉でも言える ことですが、支援者が疲弊し切っており、転職離 職が止みません。その結果、必要な支援やサー ビスが受けられない人がどんどん増えてきている 現状です。支援者も人であり、生活があります。支 えること、介護すること、そのために身を粉にし ることが当たり前とする日本の美徳なようで悪 しき習慣（と入っても過言ではないと思ひいま す）を見直さなければならぬ時期にとづくにき ていると感じています。</p> <p>福祉用具や機器の活用、介護ロボットやITの積 極的導入は活路になりますし、成功をすでに収め ている地域もあります。情報提供はもちろんのこ と、障がい者福祉を大切にしている我が市だか らこそ、むしろモデル地域として何か取り組んで いただきたいと思ひています。</p> <p>支える人介護にあたる人の健康が保証され、心 身ともに少しでも余裕を持って働くことができ こそ、安心安全に障がい者が暮らせる地域がで きると思ひますし、虐待などの悲しい事件がな くなっていくのだと思ひます。</p> <p>そういう意味でノーリフティングケアという、 合理的で新しい考え方を入れていくことが示さ れたことに期待するとともに、今後具体的にど う入ったことを関連部署と話し合っ進めてい くかをお聞きしたいと思ひました。情報提供以 外に、高知県や九州四国関西などの先進地 域の実例などから、何か導入を考えられるもの などあればお示しいただきたいです。</p>	<p>【 その他 】</p> <p>障がいのある人の日常生活を支えるためには、 支える人が心身ともに健康であることが重要 です。</p> <p>計画案33ページの2-3 自立した生活の支援 （1）相談支援体制の整備②「相談支援体制の充 実」に記載の介護技術や介護機器等の活用・導 入に関する情報提供について、先進地域の事例 を参考に、関連部署との連携も含め具体的 な取組について、今後検討していきます。</p>

◎ 凡 例

- 【 反 映 】** : 意見の全て、または一部を案に反映するもの
- 【 既 登 載 】** : 既に案に盛り込んでいるもの
- 【 そ の 他 】** : その他の意見・今後の参考として伺ったもの